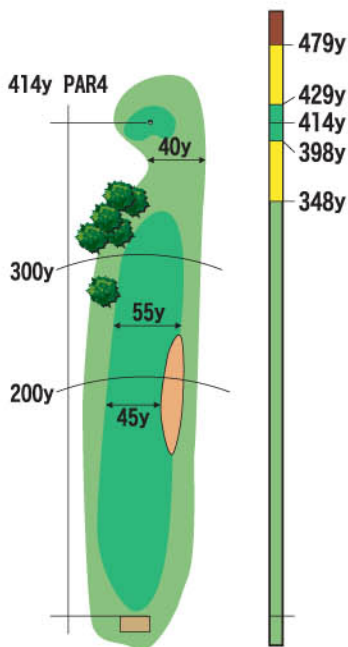
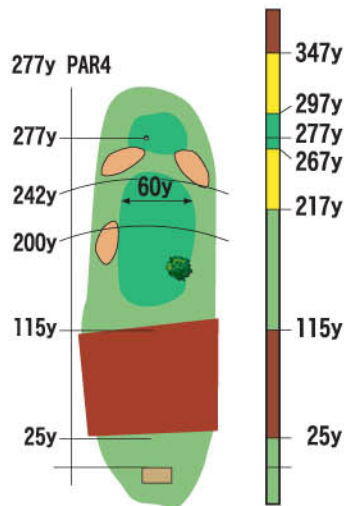


No.1 414y PAR4



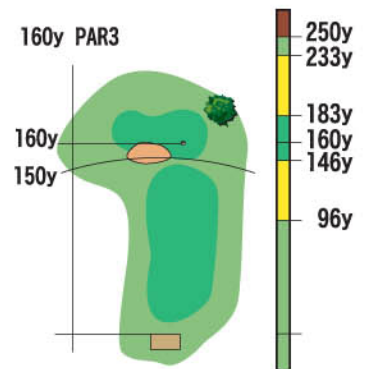
フェアウェイ右サイドのバンカーを避けてティショットすることがポイント。距離があるパー4なだけに1打目で飛距離を稼いでおきたい。

No.2 277y PAR4



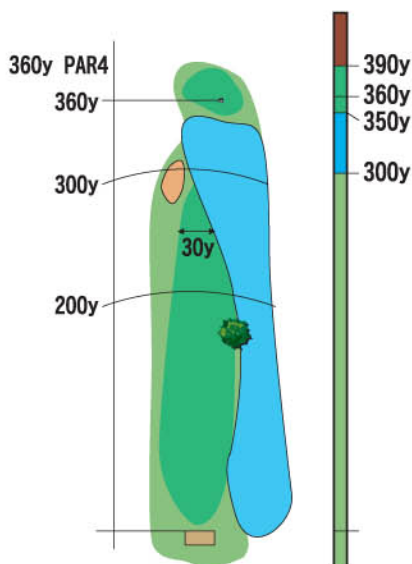
距離が短いパー4。果敢に1オン狙いか、安全にレイアップするかはあなた次第。刻む際は手前のバンカーまで飛ばし過ぎないように注意。

No.3 160y PAR3



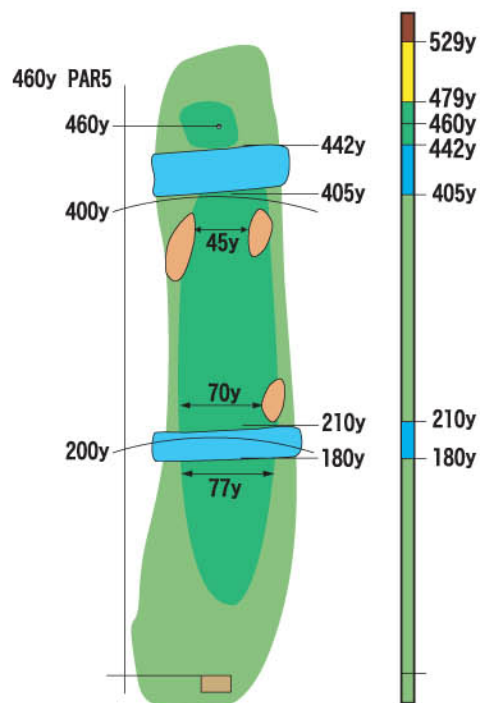
グリーンの奥行きが37ヤードしかない横長のグリーンなだけに縦の距離感が重要視される。左サイドはバンカーがあるためさらに狭い。

No.4 360y PAR4



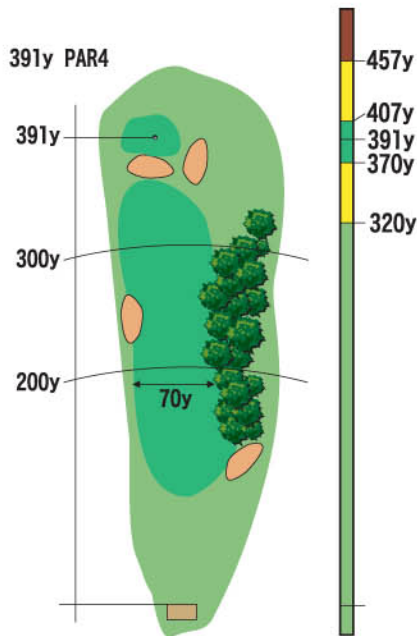
グリーン手前まで右サイドに池が広がるプレッシャーのかかるパー4。2打目は池越えになるため、自信のあるクラブを持てる距離を残すこと。

No.5 460y PAR5



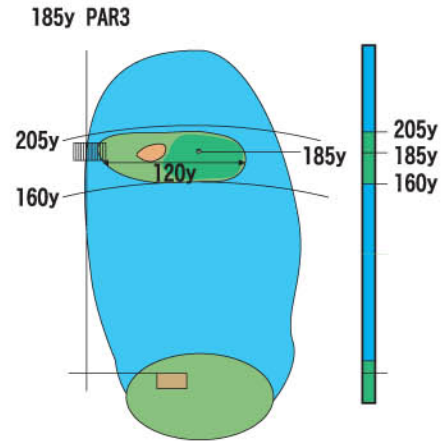
グリーンまでに2つのウォーターハザードを超えなければならないハードなパー5。1打目の飛距離で2打目を狙うか刻むかをジャッジしよう。

No.6 391y PAR4



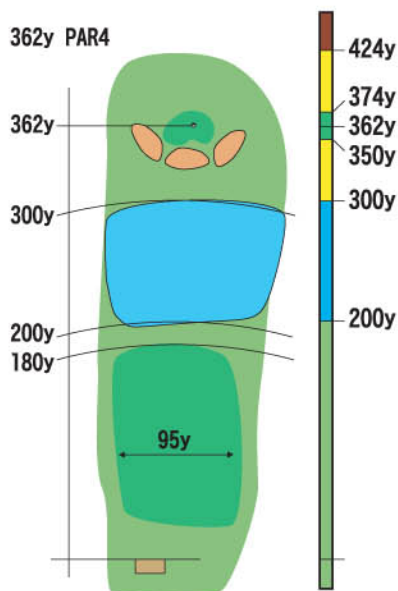
フェアウェイが広いので思い切ってティショットが打てるパー4。右の林だけは注意が必要。1打目は左バンカー右サイドがベストポジション。

No.7 185y PAR3



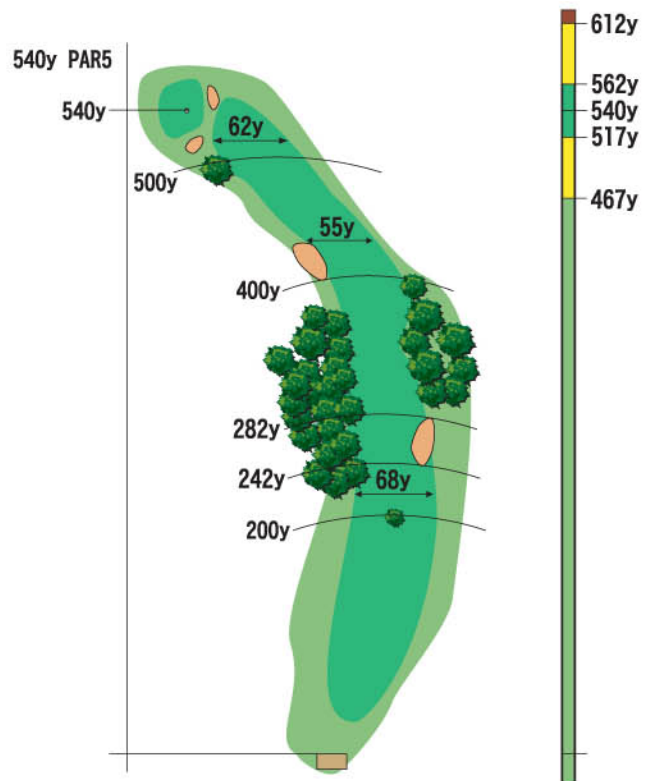
距離が長めのパー3。周囲が池に囲まれているアイランドグリーンなだけに、冷静にいつも通りのスイングができるかが攻略のポイントになる。

No.8 362y PAR4



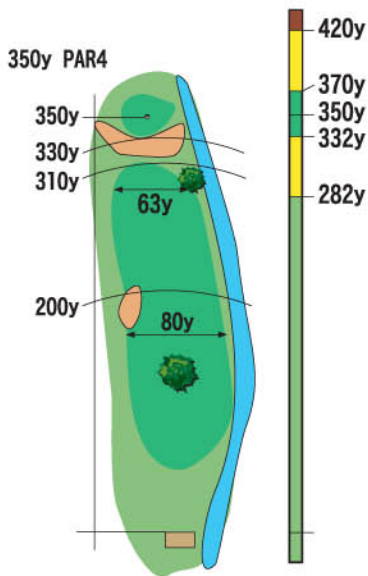
ティショットで180ヤード以上打ってしまうと池がラフに入ってしまうパー4。2打目も180ヤード前後残るため、難度が高いホール。

No.9 540y PAR5



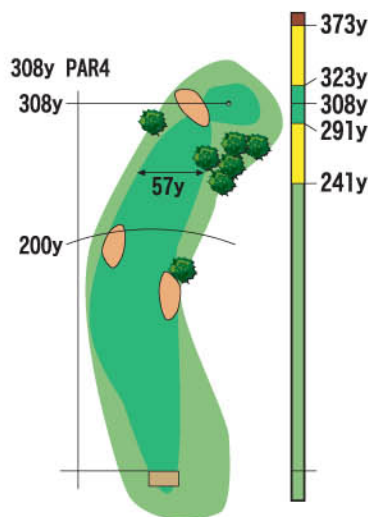
左ドッグレッグのパー5。右サイドのバンカーが効いているため、ティショットの難度が高い。2打目は400ヤード地点のバンカー横に運びたい。

No.10 350y PAR4



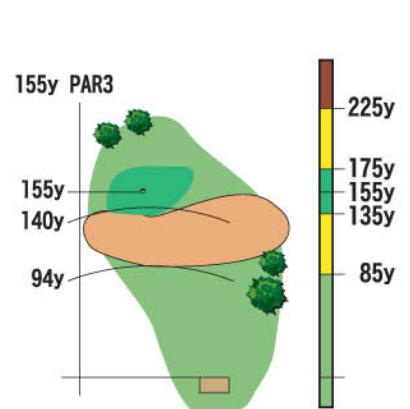
距離は短いものの、フェアウェイ右側にクリークがグリーンサイドまでつながるパー4。フェアウェイセンターの木に注意しよう。

No.11 308y PAR4



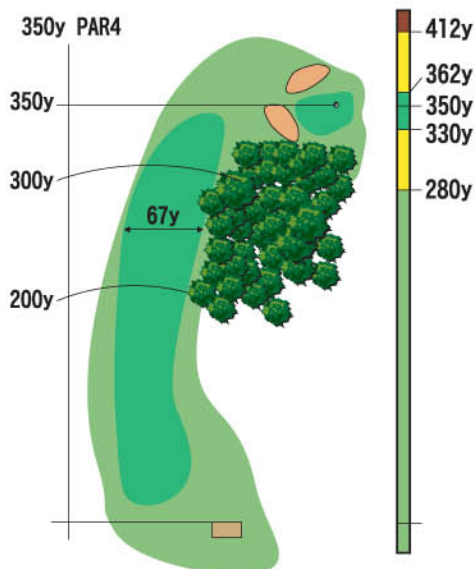
ゆるやかな右ドッグレッグのパー4。1打目を飛ばし過ぎるとフェアウェイを突き抜けてしまうので200ヤード地点のバンカー右が狙い目。

No.12 155y PAR3



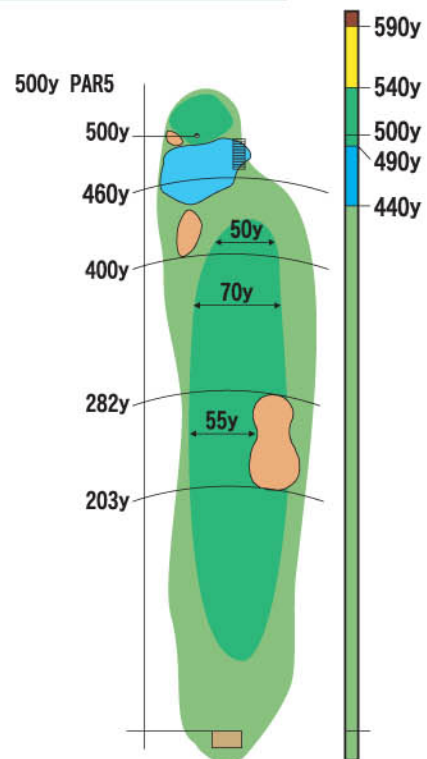
池のような大きいバンカーが口をあけているパー3。バンカーに入れないことが攻略の第一条件。グリーン奥目に合わせて番手を選ぶのがポイント。

No.13 350y PAR4



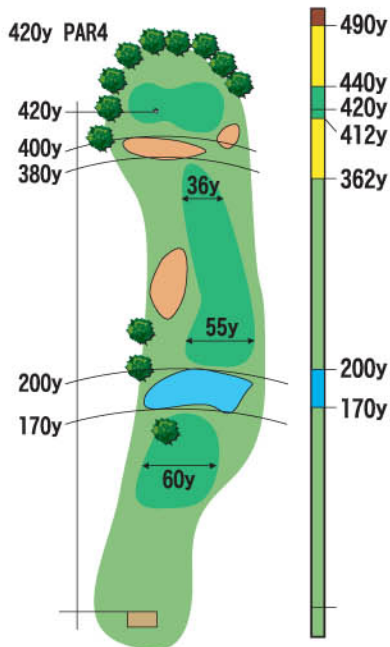
グリーンが見えない右ドッグレッグのパー4。1打目を刻み過ぎると、2打目もグリーンが見えないので、ティショットはしっかり飛ばしたい。

No.14 500y PAR5



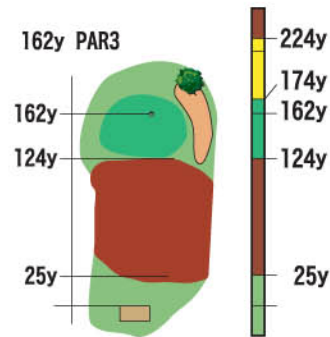
フェアウェイ右側のバンカーの影響で1打目の落としどころが狭くなっているため、ティショットの方向性が攻略のカギを握る。

No.15 420y PAR4



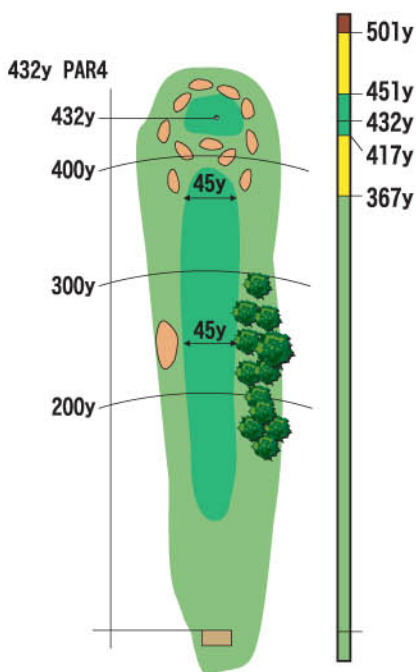
フェアウェイが2つにセパレートされたパー4。距離があるだけに、1打目は池を越して、狭いフェアウェイをキープすることがポイントになる。

No.16 162y PAR3



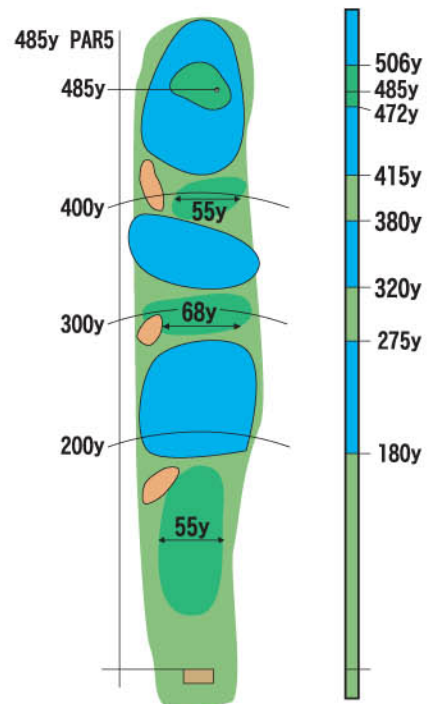
手前のバンカーだけは避けたいパー3。横に長いグリーンだが、奥にハザードがないため、オーバー目に狙うのも攻略法のひとつ。

No.17 432y PAR4



グリーン周りに無数のバンカーが待ち構えているパー4。セカンドショットの正確性が要求されるため、1打目はフェアウェイに置いておきたい。

No.18 485y PAR5



3つの池が股がるフィニッシングホール。2打目を2つ目の池を越して、フェアウェイに上手く置けるかが攻略のポイントになる。